

トマト黄化葉巻病情報第1号

平成24年9月3日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

1 コナジラミ類の発生状況

トマト黄化葉巻病の病原であるトマト黄化葉巻ウイルス (TYLCV) は、タバココナジラミバイオタイプB及びQによって媒介されます。タバココナジラミは露地野菜や雑草にも寄生し、増殖します。屋外に設置した黄色粘着トラップにおけるコナジラミ類の誘殺数は、弥富市では過去7年の平均より少なめですが、田原市では過去5年の平均より多く推移しています(図1)。

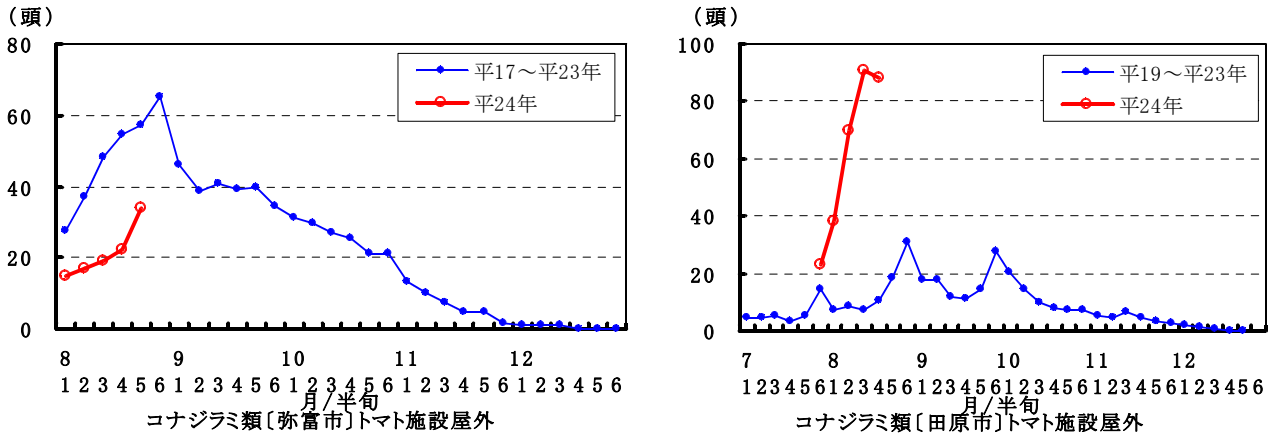


図1 黄色粘着トラップにおけるコナジラミ類の誘殺数

2 防除対策 (栽培初期の防除が重要です)

- (1) 施設の開口部に防虫ネット (目合0.4mm以下) を張りましょう。
- (2) 育苗時や定植時には粒剤を施用しましょう (下表)。訪花昆虫などを利用する場合は、それらに対する影響や残効期間に注意して防除薬剤を選定してください。
- (3) 感染の疑いのある苗は定植せず、土中に埋めるかビニル袋に入れて枯れるまで密閉しましょう。
- (4) ほ場での観察をしっかりと行い、タバココナジラミを発見したら防除を行いましょう (下表)。
- (5) 定植後の発病株は見つけ次第抜き取り、(3)と同様に適切に処分し、残さをほ場周辺に放置しないようにしましょう。
- (6) 施設周辺の雑草を抜き取り、タバココナジラミの増殖源を減らしましょう。



図2 トマト黄化葉巻病の発病株



図3 タバココナジラミ (左:幼虫、右:成虫)

表 コナジラミ類に対する主な防除薬剤

作物名	薬剤名
トマト、ミニトマト	アルバリン/スタークル粒剤
トマト、ミニトマト	ベストガード粒剤
トマト、ミニトマト	コルト顆粒水和剤
トマト、ミニトマト	アニキ乳剤
トマト、ミニトマト	ディアナSC
トマト、ミニトマト	クリアザールフロアブル
トマト、ミニトマト	ハチハチフロアブル
トマト	アプロードエースフロアブル

農薬の散布にあたっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努めましょう。